



社会福祉法人岡山こども協会【OKK】 とよた保育園
赤磐市松木 549 TEL 086-995-0244
令和8年2月2日発行



329号

ありがとう、遊具舎

1月23日、感謝の気持ちを込めて、遊具舎ありがとうの会を行いました。“チョークで建物に絵が描ける”ということが嬉しくて服や手にチョークの粉がついても気にもせず（ご迷惑をおかけしました）夢中で絵を描きました。「みて、かけたよ」「ここに描こう」とそれぞれに楽しんでいました。

解体前ということもあり、特別ににじ組も遊具舎に登りました。こぐま山より、2倍も大きい遊具舎は、足がすくむ子もいるようで、「たかい…」と呟いている子もいましたが、いつもより高い場所から見る景色は新鮮で、新しいエリアに心躍らせ「やっほー！」と声を出す子もいました。身体をしっかりと動かして登った先に広がる景色。遠くの熊山や工場まで見えてとても嬉しい気分。下にいる友だちや保育者に「おーい」と呼ぶ姿は「大きくなったよ」と言っているかのような顔つきのにじ組でした。

20年間こどもたちを見守り続けた遊具舎に感謝しながら、建て壊された後、ちょっと広がった園庭で、何を楽しもうかとわくわくしている保育者です。

實盛 将起



とよた保育園公式ホームページ
<https://toyota.okayamakodomo.kyoukai.jp/>

これ、おすすめです！

『おすすめの絵本』（0～3歳向け）

外は厳しい寒さですね。そんな時には、温かい室内でお子さんとまったり絵本タイムはいかがでしょう。はなゆき組で、こどもたちにたくさん絵本を読んできたこの職員に、おすすめの絵本を聞いてみました。



私のおすすめの絵本はだるまさんシリーズです。このシリーズは3冊あるのですが、こどもたちはどれも大好きです。

「だ・る・ま・さ・ん・が～」と読むと、保育者と一緒に身体を揺らしたり、何が出てくるんだろうと期待しながらワクワクした表情のこどもたちです。

ページをめくるたびに変わるだるまさんの表情や動きをこどもたちと一緒に真似しながら、ぜひお家でも読んでみてくださいね。



行事報告

【親の会より】

もちつきの時に、給食でいただく豚汁を作っていたいただきました。朝早くから材料を切っていたいたり、野菜を鍋に入れるタイミングを考えたり…。もちろん、もちつきのお手伝いや試食(?)もしていただきながら、楽しい時間を過ごしました。



今月のベストショット

はなゆき組



凧あげ、ひらひら

にじ組



何を描こうかな？

たんぽぽグループ



走ってにこにこ
身体はぽかぽか

つくしグループ



お互い、笑顔になるね

声を聴く-対話する-

「前が見えない」

園庭で遊んでいた時のことです。ほし組の A さんは、節分で使用する鬼のお面が完成し、保育者にできたお面をかぶって見せに来ました。しかし、お面には目の穴（覗き穴）がなかったため、保育者は前が見えていないのではないかと思いました。

A さん「みて！お面できたよ」

保育者「すごいね！でも顔が隠れてるよ。前見える？」

A さん「ほんとだ」

その後、お面を取って、園庭へ走って行きました。そして、自分で目が出る位置に鬼のお面をかぶりなおしてから、また遊びに行きました。

保育者は、「顔が隠れているよ」「前がみえているかな？」とは伝えましたが、具体的にどうすればよいかは伝えていません。

しかし、A さんは保育者のことばを聞き、“目が見えるようにお面をかぶり直す必要がある”ということに気づき、“目が隠れないようにするには、どうやってお面をかぶるのがよいか”を自分で考えて、お面をかぶり直していました。かぶり直すことができた後の A さんの表情は、にこにこ笑顔で、マイお面に喜びを感じているようでした。

保育者が、前が見やすいお面のかぶり方を伝えていたら、A さんの気づきは得られなかったと思います。なんでもすぐに正しい方向に導くのではなく、こどもなりの発想や気づきを見守ることが大切なのだなと感じました。

入矢 紗衣